

# ROSE

文化情報誌  
ロゼ

2006 AUTUMN Vol.57

ROSE THEATRE  
ART INFORMATION  
OF FUJICITY  
CULTURE MAGAZINE  
ROSE



ロゼの片隅

INTERVIEW

伊勢正三

粋な大人時間

特集1 「音楽の扉」の舞台裏。のぞいてみませんか?

EVENT CALENDAR 2006

粋な大人時間

特集2 市制40周年記念ミュージカル  
「Memory」～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～

ピックアップアーティスト

青島広志連載 ～作曲家とその妻たち 第3回～  
「マーラーとアルマ」

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE



# 伊勢正三

いせ しょうぞう



Interview

11月11日(土)に第3回を迎える、伊勢正三プロデュースによる「ロゼフォークプラザ2006」。出演は、「伊勢正三」・「尾崎亜美」、そして「かぐや姫」のメンバー、「南こうせつ」を迎える。東京は芝浦のスタジオで、リハーサルの前に貴重なお時間をいただき、お話を伺いました。もちろん! 南こうせつさんも登場です。

## ロゼの片隅

#11  
ロゼの架け橋  
(ろぜのかけはし)



中央公園側駐車場から、青葉通りを  
跨ぎ、ロゼシアターへのアプローチとな  
る歩道橋は、「ロゼの架け橋」。

「架け橋」という言葉を辞書でひくと、  
「橋、険しい所にかかる橋」とあります。  
また、このほか「双方の関係を取り持つ  
人、もの」という意味で、比喩的に用い  
られるとも記されています。

ロゼシアターは、芸術、文化との出会  
いの場所、そして人々のふれあいの場所  
です。

人と人、人と町、人と文化を結ぶ架け  
橋として「ロゼの架け橋」はそんな願  
いとともに、皆さんをロゼシアターへ誘  
います。

## Contents

- ロゼの片隅 #11 ロゼの架け橋 (ろぜのかけはし) ..... 1
- INTERVIEW 伊勢正三 ..... 2  
「こうせつ」がいる限り、大成功間違いなし。
- 特集1 粋な大人時間 ..... 5  
「音楽の扉」の舞台裏。のぞいてみませんか?  
～仲道郁代&制作者が語る「音楽の扉」～
- EVENT CALENDAR 2006 (平成18年度公演情報) ..... 7  
● 情報先取り! 魅力あるイベント満載!
- 特集2 粋な大人時間 ..... 9  
● 市制40周年記念ミュージカル  
「Memory」～ロゼシアターのクリスマス★キャロル～  
第2弾「Memory」運営委員座談会
- ピックアップアーティスト ..... 10  
◇ 田中佑美 (たなか ゆみ)
- 青島広志連載 ～作曲家とその妻たち 第3回～ ..... 11  
「マーラーとアルマ」
- Flash Back ..... 13  
■ ロゼシアター主催事業 2006年5月～2006年8月
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE ..... 14  
● プレゼントクイズ \*編集後記\*

今回で第三回目を迎える伊勢正三プロデュース「ロゼフォークブラザ」ですが、伊勢さんの思い入れは？

### 「ロゼフォークブラザ」は全国から注目

第一回は本場にメモリアルなコンサートでした。その日、高田渡さんはいつになくきげんが良く、たくさん話をしてくれました。仕事を忘れて楽しんだことを覚えていますが、いい思い出が残るコンサートになりました。二回目は大先輩のムッシュさんを迎えました。僕が若かりし頃「スパイダース」が大好きで、ムッシュさんが井上順さんに書いた曲をぜひ一緒にやってくれないかと個人的にムッシュさんを口説いてリハーサルまで来てもらい出演していただきました。また平川地一丁目も初々しく今もしたつてくれますし、若い世代で確実にフォークを受け継いでくれます。

一回二回を通じて富士にお客様が根付いて、いることを実感していますし、全国的にも注目されています。

今回は「こうせつ」が来るからプロデュースとして何を企画しようか考えているところですが、こうせつはめんどくさがり屋だから、練習に誘うためにも「エサ」が必要で、「旨いワイン」でもエサに呼び出そうと考えています。(笑)

### 富士川は遊び場

富士山周辺はいいところですね。キャンプをしたいところや、温泉にも入ってみたい。富士川上流を山梨まで登って溪流釣りをしたいですね。富士川上流の「釜無川」「早川」その奥の「西山温泉」「奈良田温泉」などいい所ばかりです。僕は毎年その地で野外コンサートと釣りを楽しんでいます。ですから富士川とはとても縁が深いですね。



全国各地の地方公演の魅力は、

### 日本の原風景を詩に

「見聞」という言葉があるように、自分が地方公演でその町に行くことによつて何か得るものはあります。僕は地方公演で特別観光する訳でもないですし、ほとんどコンサート会場とホテルの往復だけです。でもその町に降り立つまでの列車の車窓から

# 「こうせつ」がいる限り、大成功間違いなし

見える風景で町のイメージが広がります。日本は北から南まで様々な風景を見せてくれ、その変化も大好きです。行ったことのない町は特に楽しみます。目に入った景色は曲作りにむずびつきますし、日本の「原風景」はやっぱりあるので必ず見に行きます。地方公演で散歩に出かけて戻らないことがあってスタッフに心配をかけたこともあります。

伊勢さんの詩には叙情あふれるローカル線のイメージがありますね。

僕自身地方のローカル線が好きです。そのローカル線が必要とする人がそこで生活しているからです。ローカル線の列車に乗ったら地元の子供たちの笑い声、話し声が耳に入ってくる。それが楽しいですね。

レコードからCDさらにダウンロードの音楽情報について

先日、レコード針とレコードスプレーを買ってきました。今でも古いレコードを聴いていますし、パソコンに音楽をダウンロードしたり、あらゆる音楽を取り入れています。もちろん七〇年代に僕らが培ったふくよかな音楽を忘れてはいけないし、時代と共にいろいろなメロディーに出会いたいと思っています。エネルギッシュな二〇代のミュージシャンの曲を聴くのも大好きで「これはいい」と感じたりします。音楽機材にしても常に最先端をチヤクしています。いいものはどんどん取り入れて、本場に自分が納得いく音楽を提供していきたいですね。

七〇年代、若者たちのリーダーだった伊勢さんらフォークシンガー、現代社会をリードする五〇歳代の現役リーダーとしておじ

さんたちに熱いメッセージを。

僕自身変わっていないつもりですが、いつまでも「夢」を持つことが大切ですね。五〇歳ともなると「夢」も無くなってしまうですが、自分を活性化させるということだと思います。とにかくつまらない時間を過ごさないでほしいですね。七〇年代は皆真剣に遊んでいたと思います、だから年をとったからといって自分自身を「五〇歳の人間」に作ってほしくないですね。

今年も「ロゼフォークブラザ」、たくさんのお客様が楽しみにしています。

### 11/11は最高の日に

僕がプロデュースするからには、なにかコラボレーションを期待されていることでしょうか。

亜美ちゃんとかこうせつと三人はプライベートでも仲がいいんです。亜美ちゃんはフォークコンサートには必ず顔をみせてくれますし、「フォーク」という雰囲気とか「マイノリティ」が好きなんです。実力はありますし器用ですから、亜美ちゃんとのコラボレーションが今から楽しみです。

### 十一月十一日ロゼシアターで何が起るのか？

「亜美ちゃんが僕らの曲からんでくるのか」「僕らが亜美ちゃんの曲からむのか」...それはすべて「こうせつ」しだいです。(大笑)

### 南こうせつさん登場

「正やんと二人でやるのは本場に久しぶりですね。あれもやりたい、これもやりたい」と



やりたい曲がたくさんあります。皆さん、楽しみにしてください。

伊勢さんのインタビュ中に現れた南こうせつさん。お二人とも七〇年代とちつとも変わらないエネルギッシュなパワーを感じさせてくれました。おじさんたちのリーダー「正やん」と「こうせつ」ロゼのコンサートでそのパワーを分けてくれること間違いありません。

取材文／神田隆文 撮影／廣瀬貴礼



ロゼフォークブラザ2006  
に向けて...

伊勢正三

### 公演情報

伊勢正三プロデュース  
ロゼ・フォークブラザ2006

11月11日(土) 出演:伊勢正三・南こうせつ・尾崎亜美  
大ホール 開場/18:00 開演/18:30  
入場料(全席指定・税込)均一/6,000円

チケット好評発売中



# 「音楽の扉」の舞台裏。

## 仲道郁代&制作者が語る「音楽の扉」

ロゼシアターのオリジナルコンサートとしてスタートした「仲道郁代の音楽の扉」。名曲が生まれた時代にタイムスリップしたり、作品の陰に隠れた作曲家の想いをクローズアップしたり、これまでの名曲コンサートにはない新鮮なアプローチで音楽を感じるコンサートとして好評を博してきました。いよいよ今回は最終回。舞台は「音楽の都 ウィーン」です。今回は、このユニークなシリーズがどのように作られているのか、その舞台裏をピアニスト・仲道郁代さんと構成・シナリオの浦久俊彦さんに語っていただきました。

### INTERVIEW

このシリーズも次回で最終回です。これまで「パリ・フランス編」「北・東欧編」と続いて、いよいよ音楽の都ウィーンの登場です。

仲道 本当にあつという間でしたね。もともとこの企画は、ただ演奏を聴くだけではなく、音楽を「感じる」ことのできるようなコンサートと、いうロゼシアター担当者の方の熱意からスタートしました。何かモデルがあったわけではなく、本当に白紙からのスタートでしたので、どのようなものが観客のみならず楽しんでいただけるのか、浦久さんともずいぶん話し合いました。結局この企画にまとめたのは、お話をいただいてから約半年後のことでしたね。

え？企画にそんなに長い時間を費やされたのですか？

浦久 はい。ただ名曲を並べて作曲家の紹介と解説。そのようなありきたりのコンサートにはしたくありませんでしたから。「音楽を感じるコンサート」というホール側からのテーマも難しかったのですが、子供から大人まで誰もが楽しめるコンサートをとというのは「見てもないようで、実は

はとつともなく難しいテーマです。

仲道 それにロゼシアターの担当者もたいへん熱心な方で、わざわざ名古屋まで浦久さんが構成をされた私のコンサートシリーズを観にいられて。その熱意に応えるためにも中途半端なものではないと思えました。

このシリーズは、演奏だけでなくトークも充実して盛りだくさんの内容ですが、演奏とトークの両方というのは演奏家にとって大変な負担ではないでしょうか。

仲道 確かに演奏のための集中力を保ち続けることと、トークから演奏へ即座に切り替えるのは本当に難しいですね。でも、これまでさまざまなトークコンサートを開催させていただくうちに、その経験から徐々に切り替えがうまくなってきたということがありますね。

演奏やトークを引き立てるための画像も、大変珍しくて興味深いものが多いですね。

仲道 あの画像は、本番で4〜50枚使用するために、数百枚もの貴重な資料画像を浦久さん

浦久 いえ。最初に決まっていたのは「音楽の扉」というタイトルだけです(笑)。ただ、仲道さんがベートーヴェン・プロジェクトに取り組まれていたこともあつて、最後は、やはりベートーヴェンという思いがありました。

近年の仲道さんは、ベートーヴェンのピアノソナタ、協奏曲の全曲録音と連続演奏会など意欲的なプロジェクトに取り組まれていて、どれも高く評価されていますね。

仲道 どうもありがとうございます。ピアニストとしてベートーヴェンは途方もなく巨大なそびえたつ峰のような存在です。このプロジェクトに取り掛かる前は、果たして辿り着けるだろうかという気持ちも正直ありました。で、このプロジェクトが終わったら自分は死んでしまうのでは(笑)などと思つたこともあります。



プロフィール PROFILE  
仲道郁代 ピアニスト  
浦久俊彦 構成・シナリオ

### 仲道郁代(ピアニスト)

大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位、あわせて増沢賞を受賞し注目を集め、数々の国内外での受賞を経て、ヨーロッパと日本で本格的な演奏活動をスタートさせた。

これまでに日本の主要オーケストラと共演した他、海外のオーケストラとの共演も数多く、マゼール指揮ピツパーグ交響楽団及びバイエルン放送交響楽団、小林研一郎指揮ハンガリー国立交響楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団、ピヒラー指揮ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズなどのソリストとして迎えられている。2001年12月にはサンクトペテルブルク(飯森範親指揮サンクトペテルブルク・フィル)およびベルリン(デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団)でのコンチェルト・デビューを果たした。

昨今ではホール主催者と共にリサイタルを制作して行うオリジナルコンサートも行い、積極的に対応した演奏会を催し、好評を博している。

### 浦久俊彦

1961年生まれ。19歳で渡仏。パリ(コンセルヴァトワール、ソルボンヌなど)で作曲・器楽・音楽学・音楽美学・哲学・歴史社会学・文化論などを学ぶ。その後、フランス、ヨーロッパを中心に、フィルムから環境音楽まで幅広い音楽創作活動を行う。

拠点をフランスに留めながらも、1989年、学校法人・日本電子工学院(東京工科大学・日本工学院専門学校)に新設された国内初(当時)の音響芸術科の講師として招かれ、音合成の基本原則を日常の音体験から解くユニークな音楽理論講義を行うかたわら、朝日新聞社「知恵蔵」、プリマム「プリモア」など数多くの企業CM音楽制作・企画・プロデュースを手がける。

その後、1995年からは、フランス・イونس歴史文化財団とともに、歴史的文化遗产プロジェクトの企画・プロデュースを担当。音楽文化だけでなく、広く芸術・文化全般の未来を見据えた斬新な企画は高く評価された。

現在は、フランスと日本を拠点に、作曲・執筆活動とともに数々のコンサート・プロジェクトの企画・プロデュースなど多彩な活動を展開している。現代社会における音楽受容のありかたを、常に環境・社会のありようとともに批判的に問うその姿勢は内外の数多くのアーティストからも信頼を得ている。

### 公演告知

#### 【最終回】 「音楽の都ウィーン〜ドイツ・オーストリア編」

ヨーロッパ随一の貴族、ハプスブルグ家の栄華の象徴ウィーン。きら星のような大作曲家たちに愛されたこの都は、まさに音楽の都そのものでした。

- ◇プログラム/モーツァルト : きらきら星変奏曲
- ベートーヴェン : エリゼのために 小短調WoO59
- ショパン : ピアノソナタ第14番嬰小調「月光」
- ブラームス : ピアノソナタ第23番小調「熱情」

平成19年2月4日(日) 開場 13:30 開演 14:00

富士市文化会館 ロゼシアター 中ホール

□入場料(全席指定・税込) 一般/3,000円 学生/1,500円  
親子ペア券/4,000円(会員割引無し)

□チケット発売日 ロゼ会員/10月15日(日)9:00〜  
一般/10月22日(日)9:00〜

ね、でも、そもそもなぜウィーンが音楽の都と呼ばれるようになったのか？今回はそのあたりを探ってみたいと思います。  
いまだ本番がとも楽しみですね。どうもありがとうございました。

### 舞台裏での苦労話はありませんか？

浦久 スライド画像をどのようにステージに投影するかには、スタッフの方々も苦労されています。ステージから映写室まで距離があるので、ほんの微妙なことでピントが合わなかったり、なかなかサイズが定まらなかったり…。でも、最終的にはステージの反響版そのものをスクリーンに仕立てるといった奇抜なアイデアで解決しました。

次回「ウィーン編」についてお聞きします。最終回をウィーンでとるのは、最初から決まっていたのですか？

■シェーンブルン宮殿



# EVENT CALENDAR 2006

## 12 DECEMBER

**12/8 金曜日**  
**ディズニー・オン・クラシック**  
**まほうの夜の音楽会**  
 プログラム:「アラジン」、「ナルニア国物語/第1章:ライオンと魔女」他  
 大ホール 開場/18:00 開演/19:00  
 ●入場料(全席指定・税込) S席/8,000円 A席/6,500円  
 チケット好評発売中(A席完売)

音楽のチカラで心が癒される、そして元気になる。眼の前のオーケストラが奏でるディズニーの愛の名曲に包まれて本当の自分と出会う。ディズニーから生まれた歌のメッセージによって、まわりの世界が明るく輝き、日々の生活のなか片隅に追いやられていた、みずみずしい心がよみがえる。今年のディズニー・オン・クラシック2006では、会場の皆さまにとって、特別な「まほうの夜」が繰り広げられること。今回のテーマは、「Trust Your Heart」～自分を信じて～自分らしさを失わず、自分を信じる事が夢と希望あふれる新しい世界の扉を開ける第一歩なのだ、ということを通して、多くの方々に感じていただければと願っています。



～Disney on CLASSICプロジェクトチーム一同より～

**12/9 土曜日**  
**12/10 日曜日**

**チケット発売日**  
**ふじ寄席**  
**桂三枝・春風亭小朝 二人会**  
 大ホール  
 公演日/平成19年3月7日(水)  
 開場/18:00 開演/18:30  
 入場料(全席指定・税込) 1階席/4,500円 2階席/4,000円



桂三枝 春風亭小朝

**12/15 金曜日**

**チケット発売日**  
**クラシック音楽が紡ぐステキな世界**  
**～大澤徹訓レクチャーコンサート～**  
**人気コミック「のだめカンタビレ」に登場する**  
**楽曲を集めたスペシャルプログラム!**  
 出演:フジリステン  
 スペシャルゲスト:大澤美紀(ピアノ)  
 プログラム:(予定)  
 2台のピアノのためのソナタ/モーツァルト  
 ラプソディ・イン・ブルー/ガーシュイン  
 カルメン幻想曲/サラサーテ  
 ロンド・トッカータ/大澤徹訓 他  
 中ホール  
 公演日/平成19年3月9日(金)  
 開場/18:00 開演/18:30  
 入場料(全席自由・税込) 均一/1,500円

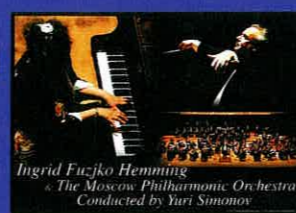
## 11 NOVEMBER

**11/3 金曜日**  
**11/4 土曜日**  
**11/4 土曜日**

**チケット発売日**  
**おかあさんといっしょ**  
**ぐ〜チョコランタン**  
 大ホール  
 公演日/平成19年2月10日(土)  
 1回目 開場/13:00 開演/13:30  
 2回目 開場/15:30 開演/16:00  
 入場料(全席指定・税込) 均一/2,000円(会員割引無し・購入枚数制限6枚まで)  
 ※2歳以上チケット必要、1歳以下膝上鑑賞無料  
 ※両日とも電話受付のみ



**11/4 土曜日**  
**イングリット・フジコ・ヘミング & モスクワ・フィルハーモニー交響楽団**  
 指揮:ユーリ・シモノフ  
 大ホール  
 開場/17:30 開演/18:00  
 チケット完売



**11/5 日曜日**  
**K-MIX公開録音**  
 出演:Skoop On Somebody、植村花菜 ほか  
 大ホール  
 開場/18:00 開演/18:30  
 ●入場無料(要整理券)

**11/11 土曜日**  
**伊勢正三プロデュース ロゼフォークプラザ2006**  
 出演:伊勢正三、南こうせつ、尾崎亜美  
 大ホール  
 開場/18:00 開演/18:30  
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/6,000円  
 残券僅少



伊勢正三 南こうせつ 尾崎亜美

**11/12 日曜日**  
**ブルーアイランド氏のフレッシュ・リフレッシュ音楽会**  
**～東京ニューフィルと二人の歌い手を迎えて～**  
 指揮:ピアノ・おはなし:青島広志  
 出演:東京ニューフィルハーモニック管弦楽団  
 赤星啓子(ソプラノ)・小野 勉(テノール)  
 大ホール  
 公演日/平成19年3月21日(水・祝)  
 開場/17:30 開演/18:00  
 入場料(全席指定・税込) 一般/3,000円 学生/1,000円

愛のあいさつ/エルガー  
 モルタウ/スメタナ  
 「誰も寝てはならぬ」/ブッチーニ  
 「乾杯の歌」/ヴェルディ

**11/30 木曜日**  
**市制40周年記念ミュージカル『Memory』～ロゼシアターのクリスマス・キャロル～**  
 中ホール  
 月組公演 開場/18:30 開演/19:00  
 ●入場料(全席自由・税込) 均一/1,500円  
 チケット好評発売中

**12/1 金曜日**  
**12/2 土曜日**  
**12/3 日曜日**

チャールズディケンズ原作の「クリスマス・キャロル」をモチーフに、これまでにロゼシアターが制作したミュージカル6作品「新・曾我物語～名残りの小袖」「弥次喜多道中夢枕」「ハローマイタウン」「新説・竹取物語～THE TAKETORI STORY～」「DREAM COME TRUE～我楽庵屋物語～」「我楽庵屋物語Ⅱ～忘れなばいよ～」の音楽を随所に散りばめた感動のミュージカル。



## 10 OCTOBER

**10/1 日曜日**  
**SUPER JAZZ LIVE**  
**古野光昭フルノーツwith寺井尚子**  
 出演:古野光昭(Bass)、川嶋哲郎(T-Sax・S-Sax)  
 佐山雅弘(Piano)、大坂昌彦(Drums)  
 スペシャルゲスト:寺井尚子(Violin)  
 中ホール 開場/18:00 開演/18:30  
 ●入場料(全席指定・税込) 1階席/5,500円 2階席/4,500円  
 チケット好評発売中



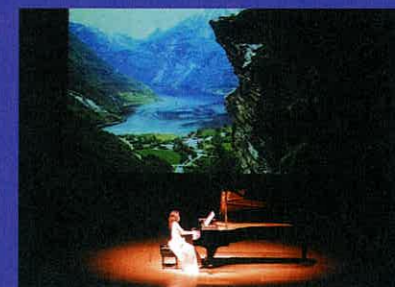
寺井尚子



古野光昭 川嶋哲郎 佐山雅弘 大坂昌彦

**10/15 日曜日**  
**10/22 日曜日**

**チケット発売日**  
**ロゼシアターオリジナルコンサート**  
**仲道郁代「音楽の扉」(最終回)**  
**～ピアノで巡る音と街の物語～**  
**「音楽の都ウィーン～ドイツ・オーストリア編」**  
 ピアノ・お話:仲道郁代  
 構成・演出:浦久俊彦  
 中ホール  
 公演日/平成19年2月4日(日)  
 開場/13:30 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込) 一般/3,000円 学生/1,500円  
 親子ペア券/4,000円(会員割引無し)



### ロゼシアター主催公演のチケット購入方法について

- ロゼ・チケットセンターで直接購入(9:00～19:00)  
 ロゼシアター1階のロゼ・チケットセンターへどうぞ。座席表を見て空いているお席の中から好きな席が選べます。
- ロゼ・チケットセンター電話受付で購入(9:00～19:00)  
 ロゼ・チケットセンター0545-60-2500にお電話で受付(座席番号の指定はできません)のうえ、以下の方法でチケットをお受け取り。  
 [1] 直接来店…ロゼ・チケットセンターでチケット代金とお引替えください。  
 [2] 郵 送…チケット代金を郵便振替もしくは銀行振込でご入金(チケット代金・チケット送料)いただき、ロゼ・チケットセンターでご入金を確認出来次第チケットをご郵送いたします。
- 郵便振替:郵便振替口座 00840-0-130374  
 銀行振込:富士信用金庫本店 普通預金口座 0146337 ※いずれもロゼ・チケットセンターまで。
- プレイガイドで直接購入 ※取り扱っていない公演もございます。下記のプレイガイドでご購入ください。  
 ■マルサン書店 沼津仲見世店 TEL.055-963-0360 10:00～20:00  
 ■カフェ書店 富士宮宮前店 TEL.0544-24-7160 9:00～24:00  
 ■ユニオンテラス富士宮店サービスカウンター TEL.0544-24-6777(代) 10:00～21:00
- チケットぴあで購入

**電話で予約購入** 10:00～23:30  
**0570-02-9999** (音声認識予約)  
 スポーツ専用 0570-02-9977  
 演劇専用 0570-02-9988  
 クラシック専用 0570-02-9990  
 問合せ専用 0570-02-9111

**各店舗で直接購入**  
 FamilyMart 10:00～23:30 ※発売初日は12:00～  
 ローソン 10:00～23:30 ※発売初日は12:00～  
 ローソン 10:00～各店営業終了時まで

**直接お店で購入**

※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については7ページをご覧ください。  
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。



作曲家と彼の妻たち

マーラーとアルマ

音楽家の妻が音楽家であるという確率は、近代に近づくほど高くなって行きます。まず、音楽家の交際範囲は狭いものですし、また、音楽を職業とする女性は、時代を追うごとに増えて行ったからです。そして多くの場合、悲劇的な結末を迎える可能性の高い結び付きでした。

もっとも、夫が作曲家で妻が演奏家である場合は、お互いに認め合って生涯を全うすることもできたでしょう。家政などの分担に問題はあつたでしょうが、それはお金で解決できることですし、何より、お互いの分野が違うので、心理的な葛藤は生まれず、理想的な共同生活もできるはずなのです。しかし、両者が同じ分野の音楽家だったら――それは嫉妬や羨望が入り混じった愛憎劇へと発展します。マーラーとその十四歳年下のアルマとはまさにそうしたカップルでした。

現在残されている回想論はアルマの著したものですから、その全てを信じるわけには行かないとしても、少なくとも作曲家を志した妻の目から見た夫の言動の記録としては、これに頼るほかはありません。それによると、結婚前にとり交わされた手紙の中で、マーラーはアルマの「これから作曲の仕事をするので」と書いた箇所を留め、「作曲をするのは自分で、君の仕事とは私の愛らしい伴侶であり、理解ある同志だ」と決め付けています。実はこのときまでに彼女は、シェーンベルクの師にあたるツェムリンスキーの下で、すでに百曲以上の歌曲を書いていましたから、このような婚約者の態度に衝撃を受けました。しかし、そのために婚約破棄はしませんでしたし、むしろ彼の傲慢さが引きがねとなって、直ちに結婚に踏み

切つたのです。それは男尊女卑の時代だからと言えるかも知れませんが、このときのアルマの心理を分析してみると、憧れていた相手に対するきわめて女性的な心理と、それを支配したいという男性的な心理が同居していることに気が付かれます。そのためには彼女の生い立ちを眺める必要があるでしょう。アルマ・シントラーは、一八七九年に宮廷画家を父として生まれ、「神さまたちと遊びなさい」と言われて、家のサロンに集まる芸術家たちと、幼いころから交友を深めていました。父は彼女が13歳の折りに急逝しますが、マーラーこそ父の言う「神さま」だつたことは否めない事実です。母の再婚相手であるカール・モルもまた画家で、彼の紹介でクリムトや劇場支配人のマツクス・ブルクハルトもアルマを恋することになります。ツェムリンスキーに師事させたのも、もちろん義父の力あつたことでした。アルマは、まずこの師に夢中になります。それは十二音技法を密かにあみ出したツェムリンスキーの才能のためで、決して彼の客貌のせいではありませんでした。

どうやらアルマは、その相手の才能が巨大であればあるほど、その容姿にはかわらない傾向があるようです。師に対しては「汚い抵抗」、夫に対しては「自分よりも小柄で、常に神経質そうにイライラして、アバタもエグボというわけではないでしょう。そして、そのような神さまから自分が強く求められることに感動し、次にその才能に靈感を与える女神として君臨することを喜びと感ずるに至つたと考えられます。たしかに、41歳まで女性体験

のなかつたマーラーは、不幸な少年時代を過ごし、八人もの弟妹たちの世話しながら主としてオペラの指揮者として名を成すものの、作曲家としては認められず、従つて癩癪持ちでプライドが高く、自分の意にそぐわないと地団駄を踏み、指揮棒で相手を刺しますというような、傍若無人な男たつたのです。

二人の結婚は九年と二ヶ月という短いものでした。離婚ではなく、アルマに新しい恋人、建築家のグロピウスが現れたため、持病の心臓病が悪化してマーラーがこの世を去つた、という見かたが妥当のようです。それ以前に、アルマは二人の娘を設けたころから、育児を含む男女の仕事分担に激しい落差と感ずっていますし、しかも長女を病で失つてしまつてからは、すでにマーラー家の一員として存在する価値も見出せなくなつてしまつたようです。そんな彼女を継ぎ留めるために、ここでマーラーは妻の旧作の歌曲を出版し、「千人の交響曲」を献呈するのでした。マーラーの没後、アルマはグロピウスを尻目に、画家のココシユカと関係を持ちますが、やがてグロピウスと結婚。そして離婚後、今度は11歳年下の詩人ヴェルフェルと正式に結婚します。ココシユカとの間の子供はアルマの意志によつて墮胎され、グロピウスとの娘マノンは18歳で小児麻痺のためにこの世を去り、結局三人目の夫との間の娘と孫娘がアルマの意志を継いで、マーラーの作品の普及に努めています。再婚してもマーラー未亡人という肩書きを忘れなかつた彼女にとって、やはり彼こそが真の神さまだったのでしよう。

第3回

ブルーアイランド氏のフレッシュ・リフレッシュ音楽会

ー東京ニューフィルと二人の歌い手を迎えてー

今回の演奏会は豪華で、しかも若々しさあふれる演奏と曲目が満載されています。ブルーアイランド氏こと青島広志と長年のコンビを組む東京ニューフィル、実力と魅力を兼ね備えた歌い手、それにピアノと、どの曲をとっても今が聞きどころの楽しい曲ばかりです。どうぞお誘い合わせの上おいでください。

平成19年3月21日(水・祝) ロゼシアター(大ホール)

■一般 3,000円 ■学生 1,000円 ■チケット発売 11月12日(日)AM9:00より

|    |                  |    |                    |
|----|------------------|----|--------------------|
| 曲目 | ブラームス/大学祝典序曲     | 出演 | 青島広志(指揮、ピアノ、お話)    |
|    | エルガー/愛のあいさつ      |    | 赤星啓子(ソプラノ)         |
|    | プッチーニ/「誰も寝てはならぬ」 |    | 小野勉(テノール)          |
|    | ヴェルディ/「乾杯の歌」ほか   |    | 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団 |



イラスト:文/青島広志



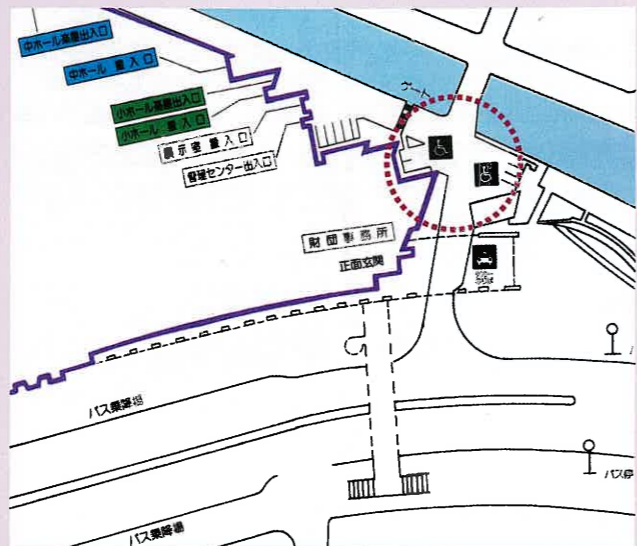
●ロゼシアターからのお知らせ

## 障害者用駐車場ご利用のご案内

1階正面玄関南側にある身障者用駐車場(右図○エリア付近)が追加されました。予めお電話等でご連絡いただければゲート付近の駐車場をご案内致します。また当日に駐車できない場合も会館事務所にご連絡下さい。



会館事務所(お客様サービスグループ)  
☎0545-60-2510まで



## プレゼントクイズ

11月11日(土)公演「ロゼフォークプラザ」  
出演は「伊勢正三」「南こうせつ」と後一人は誰?  
漢字で答えてね!【○○○○】

プレゼント1 「仲道郁代の音楽の扉」2007年2月4日(日)公演  
公演チケット10組20名様

プレゼント2 レストラン「ロゼ」  
御招待券 2組4名様

プレゼント3 「女子十二楽坊」  
サイン色紙 5名様



応募方法/官製はがきに、住所、氏名、年齢、職業、クイズの答え、希望するプレゼント名(いずれか1つ)、本誌に対するご意見・ご感想をお書きのうえ、下記宛て先に郵送を。(平成18年12月20日消印有効)なお、当選は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

宛て先 〒416-0953 富士市夢原町1750番地  
ロゼシアター「情報誌ロゼ第57号プレゼント」係

## ●臨時休館日のお知らせ

●11月20日(月)・21日(火)

年末年始の休館日

●12月29日(金)・30日(土)・31日(日)

●平成19年1月1日(月)・2日(火)・3日(水)

**招待コンサート**  
ロゼシアターが開館してからずっと続けて行ってきた事業「招待コンサート」。富士市の全小学6年生と全中学2年生を学校から会場までバスで送迎し、せっかく「ロゼシアター」があるのだから、子供たちに「流のクラシック音楽をロゼシアターで聴いてもらいたい」との思いだけでここまで続けてきた。生徒数減少にもない、前年から空席を利用して、保護者の皆様に「家」に帰って子供とこのコンサートのことを話題に会話がはずみそうです。というアンケートには「主婦である私自身としても共感でき、招待される子供のことばかり考えていたので、思いもしなかったコメントに「ヘー」という感じでした。来年も予定していますので、どうぞ是非ロゼシアターで来ていただきたいなと思います。



「中学生招待コンサート」静かに開演を待ちます。舞台上で演奏を聴く。客席とは違う音が...



指揮者体験コーナーでは「ベートーヴェン」運命」を指揮。「小学生招待コンサート」オーケストラの演奏で富士市民歌を歌いました。

編集後記

# Flash Back

ロゼシアター主催事業 (5月~8月まで) フラッシュバック 2006

5/20 (土) NHK公開録画「爆笑OAバトル」



5/26 (金) TOKYOポップスオーケストラ「映画音楽の夕べ」



5/28 (日) 2006MAYコンサート



6/10 (土) 千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル



6/24 (土) チェコ・フィルハーモニー六重奏団 ピアノ/アレクサンダー・セメツキー フルート/川島祐子



6/25 (日) 爆笑お笑いバトル 2006in富士  
出演: いつもここから、アンガールズ、笑い飯、麒麟、だいたひかる、クールボコ



7/2 (日) 仲道郁代の音楽の扉 ~ピアノで巡る音と街の物語~ 第2回「森と湖の都~東欧・北欧編」



7/5 (水) ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート  
指揮: 北原幸男 ピアノ: 田中佑美  
演奏: 新日本フィルハーモニー交響楽団



7/7 (金) ふじ少年少女芸術劇場 小学生招待コンサート  
指揮: 堤俊作 演奏: 静岡交響楽団



7/8-9 (土)(日) 劇団四季ミュージカル「コーラスライン」



7/13 (木) 宝塚歌劇雪組公演「ベルサイユのばら」 ~オスカル編~



7/14-19 (金)(水) 多賀紙人形展



7/19 (水) 松竹大歌舞伎 勘九郎改め十八代目 中村勘三郎 襲名披露  
出演: 中村勘九郎、中村七之助 ほか



8/3 (木) ロゼこどもコンサート



8/3 (木) 結成5周年記念 女子十二楽坊 日本公演2006



ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報 ◆メールマガジン配信など

